

# 取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書では次の項目を説明しています。

本書をお読みになる前に	2
1. 必ずお読みください	12
梱包物の確認	12
設置について	12
接続について	12
電源を入れる	15
セットアップ	17
電源を切る	23
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す	25
エラーについて	25
2. 必要に応じてお読みください	25
リカバリ	26
リカバリ操作	27
お問い合わせ先	29

## CELSIUSマニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。『CELSIUS マニュアル』は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照いただけます。

# 本書をお読みになる前に

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、『取扱説明書』の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。  
また、『取扱説明書』およびマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

## 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

### ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権  
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ  
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み  
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製  
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。  
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。  
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。  
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡  
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本ワークステーションに添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等  
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲  
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。  
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。  
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。  
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ  
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

## 保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「SupportDesk」を用意しております。  
お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、担当営業員または担当保守員にお申し込みください。

### ■ Support Desk

ハード障害発生時の修理を行う「Product 基本/基本 24」に加え、お客様のご要望に応じて 2 つのオプションメニューをご用意しております。また、価格面でよりお得な「保証アップグレードバック」や「ビックアップ&デリバリ」もございます。

- ・ Product 基本/基本 24：オンサイト修理、情報提供  
専用窓口をご用意し、障害発生時のスムーズな受付を行いません。  
受付は [基本]：月曜日～金曜日の 9:00～19:00（祝日、年末年始を除く）、[基本 24]：24 時間 365 日  
受付後、専任スタッフがお客様先に訪問し、速やかに修理を行います。  
障害対応履歴については、お客様専用ホームページにてご確認頂けます。
- ・ PC ソフトサポート（オプション）：ソフト QA 対応  
パソコンのブレイクストールソフトウェアについて QA 対応を行います。
- ・ PC 定期点検（オプション）：定期点検  
定期的に次のような予防保守を行います。
  - 点検、整備、摩耗部品交換（消耗品は対象外）
  - 清掃、調整等
- ・ 保証アップグレードバック：オンサイト修理  
保証期間分の割引価格を予め想定したお得な修理サービスのバック商品です。（各 3、4、5 年バック）  
商品添付の「お客様登録票」を発送するだけで、直ぐにサービススタートが可能です。
- ・ ビックアップ&デリバリ：引取修理  
訪問型修理ではなく、お客様の修理依頼にもつきパソコンの引取修理を行なうサービスです。  
「Product 基本」よりも割安な価格設定を行っております。  
9：00～16：00 受付 当社翌営業日 AM 中（9：00～12：00）に引取  
16：00～19：00 受付 当社翌営業日 PM 中（12：00～21：00）に引取  
引取後、4～6 営業日で修理・返却します。  
但し、障害の程度によってはそれ以上の期間を要することもあります。

## マイクロソフト製品サービスバック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスバックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。  
お客様は、最新のサービスバックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。  
したがって、当社としては、最新のサービスバックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。  
ただし、お客様の環境によっては、サービスバック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスバックの Readme.txt を必ずご確認ください。  
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

## データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。  
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

## 添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。  
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。  
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

本製品には、有寿命部品（CRT、液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

本製品の使用環境は、温度 10～35℃/湿度 20～80%RH（動作時）、温度 0～50℃/湿度 8～80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。  
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波ガイドライン適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品の構成部品（プリント基板、CD-ROM ドライブ、ハードディスク、フロッピーディスクドライブなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン）が含有されています。

## エネルギー消費のお知らせ

### ■ 電源「オフ」状態の消費電力：3W 以下

（電源「オフ」状態のエネルギー消費は、本製品の電源プラグをコンセント（AC100V）から抜くことにより回避できます）

### ■ 動作時の最大電力、最小電力

- ・ 最大電力：約 160W
- ・ 最小電力：約 53W  
（ご使用になる機器構成により値は変動します）

## 高性能無停電電源装置のバッテリー

電源の投入/切断時間にかかわらず約 2 年経過すると交換時期となりますが、周囲温度により、バッテリー寿命が短縮されることがあります。詳細につきましては、高性能無停電電源装置の取扱説明書をご覧ください。

## 安全上のご注意

### ■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。













また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



## 警告表示について





### ■電源・電圧・接続について

#### 警告

-  ● 電源ケーブルを接続する前に、必ずアースを接続してください。  
アースを接続しないと、感電のおそれがあります。
-  ● アース線はガス管には絶対に接続しないでください。  
火災の原因となります。
-  ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。
-  ● 電源ケーブルやコネクタの金属部分に手を触れないでください。また、電源プラグを抜いた直後は、プラグに触らないでください。  
感電の原因となります。
-  ● 電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
-  ● 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。  
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。  
修理は、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。
-  ● 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。  
そのまま使用すると、火災の原因となります。
-  ● カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、ワークステーション本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。  
感電・火災または故障の原因となります。
-  ● 近くで落雷のおそれがある場合は、ワークステーション本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。



#### 注意

-  ● 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。  
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。
-  ● 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
火災・故障の原因となることがあります。

-  ● 電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。  
延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。
-  ● ディスプレイ以外の機器（指定外の機器）を、ワークステーション本体に接続して電源を取らないでください。  
火災・故障の原因となることがあります。
-  ● 電源ケーブルを束ねて使用しないでください。  
発熱して、火災の原因となることがあります。
-  ● ケーブルは正しく接続してください。  
誤った接続状態で使用すると、機器本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

## ■本体・周辺機器の取り扱いについて

### 警告

-  ● 万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。  
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
-  ● 異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入ったときは、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  ● 機器を落としたり、カバーなどを破損したときは、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
-  ● 機器をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が悪く誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。  
万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。
-  ● 機器本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  ● 機器の上または近くに花びん・植木鉢・コップなどの水が入った容器や、クリップ・ピンなどの金属物を置かないでください。感電・火災の原因となります。
-  ● 台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。  
感電・火災の原因となります。



- 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。

## ⚠ 注意



- 機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。  
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。  
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 機器の開口部（通風孔など）をふさがないように、機器と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。  
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



- 使用中の機器は布などでおおったり、包んだりしないでください。  
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- CD-ROM ドライブなどのレーザー光の光源部を直接見ないでください。  
目を傷める原因となることがあります。



- 液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着したときは、流水で 15 分以上洗浄してください。  
また、目に入ったときは、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。  
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- 周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をご使用ください。  
弊社純正品以外の機器を使用すると、故障の原因となることがあります。



- フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、フロッピーディスクドライブの差し込み口に指などを入れないでください。  
けがの原因となることがあります。



- CD-ROM ディスクなどをセットするとき、および取り出すときには、CD-ROM ドライブなどのトレーやスロットに指などを入れないでください。  
けがの原因となることがあります。



- 周辺機器類、マザーボードなどの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。  
指定された場所以外のネジを外すと、けがをすのおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ワークステーション本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。けがをすのおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

## ■その他

### ⚠ 警告



- 梱包に使用しているポリ袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。



- ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態で本ワークステーションを使用しないでください。故障の修理は弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



## ⚠ 注意

- 健康に注意** ● 本ワークステーションを無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となる場合があります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1時間に10分以上の休憩をとってください。
  - ・いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
  - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
  - ・ひじは90度以上に伸ばして操作する。
- 健康に注意** ● ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等、目の傷害の原因となることがあります。1時間に10分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。
- 重量物** ● ディスプレイなどの重量のある装置を動かすときは、必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。
- 感電** ● 機器を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、機器が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 感電** ● 長期間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 聴力障害** ● ヘッドホンなどをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。
- 聴力障害** ● ヘッドホンなどをしたままワークステーション本体の電源を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。
- 発火** ● 本装置は連続動作（24時間動作）を目的に設計されておりません。ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。
- 破裂** ● 機器の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。本装置はリチウム電池を使用しており、火中に投げると破裂の恐れがあります。

## 本書の表記

### ■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

### ■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

## ■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
      ↑ ↑
```

- ・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。  
また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- ・CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

## ■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓  
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

## ■BIOS の表記

本文中の BIOS 設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「-」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「Advanced BIOS Features」の「Silent Boot」の項目を「Enabled」に設定します。

↓  
「Advanced BIOS Features」- 「Silent Boot」: Enabled

## ■お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2003 年 6 月現在のものです。変更されている場合は、弊社担当営業員または担当保守員へお問い合わせください（→ P.29）。

## ■カスタムメイドオプション

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載されている場合があります。

そのため、お使いの本製品がカスタムメイドオプションを取り付けている場合、本文中の説明と一部記載が異なる場合があります。

## ■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows 注
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows® XP 日本語版 Service Pack	SP	
Microsoft® Windows® 2000 日本語版 Service Pack		
Matrox Millennium G450	Millennium G450	
Matrox Millennium G450-PCI	Millennium G450-PCI	
CELSIUS Fire GL 8800	Fire GL 8800	
CELSIUS Quadro®4 900 XGL	Quadro4 900 XGL	

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

## ■機種名表記

本文中の機種名を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

機種名	本文中の表記	
CELSIUS 330	CELSIUS 330	本ワークステーション ワークステーション本体

## 警告ラベル／注意ラベル

本ワークステーションには警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。  
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## リサイクルについて

### ■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

#### ●液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

#### ●法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通りサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

#### ●個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

### 重要

- ▶ 本製品の廃棄時は、専用のソフトウェアなどを使用して、ハードディスク内のデータを消去することをお勧めします。消去しないまま廃棄すると、悪意のある人により、ハードディスク内のデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。詳しくは、『CELSIUS マニュアル』-「ワークステーション本体廃棄時のセキュリティ」をご覧ください。

### ■使用済乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。

使用済乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

#### ●法人・企業のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

#### ●個人のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

### ■富士通りサイクルシステムについて

弊社では1998年より、法人・企業のお客様から廃棄されるパソコン、液晶ディスプレイを「富士通りサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

お問い合わせ／お申し込み先：<http://eco.fujitsu.com/> の「富士通りサイクルシステム」をご参照ください。

なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

### ■ご家庭から排出されるPCグリーンラベル適用製品について

ご家庭から排出される使用済みパソコンの回収については、経済産業省 環境部会廃棄物・リサイクル小委員会パソコン3Rワーキンググループと、環境省 パソコン等リサイクル検討会の合同会合で審議された結果を踏えて、平成15年10月を目途に適切な方策を導入することになっております。

このため、PCグリーンラベル適用製品の各ご家庭からの具体的な回収開始時期及び回収方法等につきましては、別途、弊社よりインターネットなどを通じてご案内申し上げます。

## CELSIUS マニュアルの参照

---

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

Microsoft、Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
Matrox、Matrox Millennium は、Matrox Graphics Inc. の商標です。  
NVIDIA、NVIDIA Quadro は、NVIDIA Corporation の登録商標です。  
ATI、FIRE GL は、ATI Technologies Inc. の商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003  
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

# 1. 必ずお読みください


## 梱包物の確認

『梱包物一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。  
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。

## 設置について

本ワークステーションの設置場所、設置方法を説明します。

### ⚠ 注意

-  ● 装置の開口部（通風孔や冷却ファン）をふさがないでください。通風孔や冷却ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

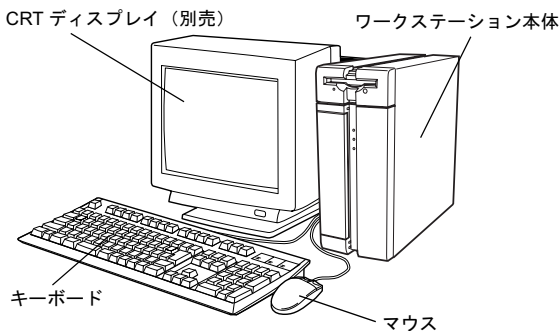
## 設置する場所

本ワークステーションを設置する場合は、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 10℃未満の低温になる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所

## 設置例

本ワークステーションは次のように設置してください。






## POINT

- ▶ ワークステーション本体は、壁などから 10cm 以上離して設置してください。
- ▶ 本ワークステーションは、横置きに設置できません。図のように縦置きでご使用ください。



## 接続について

ワークステーション本体に、ディスプレイ、キーボード、電源ケーブルなどを接続します。

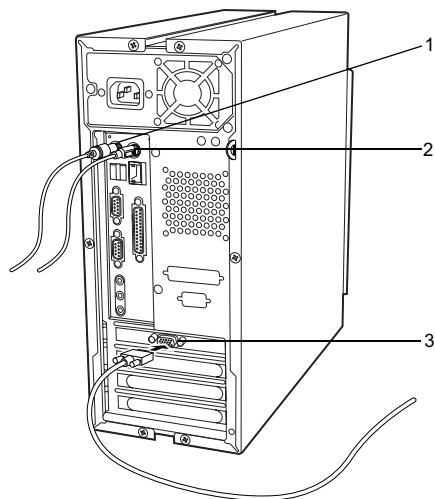
### ⚠ 警告

-  ● アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。アース接続をしないと、感電のおそれがあります。また、アース線は、ガス管には絶対に接続しないでください。火災の原因となります。
-  ● ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、ワークステーション本体および接続されている装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。感電の原因となります。
-  ● ディスプレイ、キーボード、マウスを取り付ける場合は、弊社純正品をお使いください。感電・火災または故障の原因となることがあります。

### ⚠ 注意

-  ● ケーブルの接続は、間違いがないようにしてください。誤った接続状態でお使いになると、ワークステーション本体および周辺装置が故障する原因となることがあります。
-  ● プリント板は、指定されている場所以外には手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

## ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する



### 1 キーボードを接続します。

キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右側に向け、キーボードコネクタの色とワークステーション本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。

### 2 マウスを接続します。

マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右側に向け、マウスコネクタの色とワークステーション本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。

### 3 ディスプレイケーブルをワークステーション本体に接続します。

ケーブルのコネクタを、ワークステーション本体背面のディスプレイコネクタに接続して、ケーブルのコネクタのネジを締めます。

## POINT

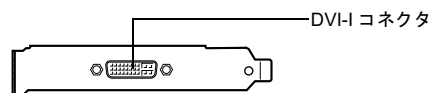
- ▶ デジタルディスプレイを接続する場合、最低でも 640 × 480、800 × 600、1024 × 768 のすべての解像度（モード）に対応したデジタルディスプレイをお使いください。

対応していないデジタルディスプレイでは、正常に表示できません。

- ▶ ワークステーション本体とディスプレイが接続されていない場合、本ワークステーションが正常に起動しないことがあります。本ワークステーションの電源を入れる前に、必ずワークステーション本体とディスプレイがディスプレイケーブルで接続されているか確認してください。また、本ワークステーションの電源を入れた後は、ディスプレイケーブルの取り外しや取り付けを行わないでください。

- ▶ マルチディスプレイで使用する場合は、必ず Windows の初期設定を行ってから、もう 1 本のディスプレイケーブル（DVI-VGA 変換アダプタ経由の接続を含む）を接続してください。
- ▶ マルチディスプレイで使用する場合は、ディスプレイドライバの設定が必要になることがあります。詳しくは、ディスプレイアダプタのプロパティ内にあるヘルプをご覧ください。

- Millennium G450 の場合（標準モデル）



- 1 台のディスプレイを接続する場合

アナログディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタに、添付の DVI-VGA 変換ケーブルを接続し、DVI-VGA 変換ケーブルのアナログ RGB コネクタに刻印されている「1」コネクタに、ディスプレイケーブルを接続します。デジタルディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタに、ディスプレイケーブルを接続します。

- マルチディスプレイ（2 台）で接続する場合

アナログディスプレイを接続するときは、DVI-VGA 変換ケーブルのアナログ RGB コネクタに刻印されている「2」コネクタに、もう 1 本のディスプレイケーブルを接続します。「1」コネクタに接続されたディスプレイがプライマリディスプレイ、「2」コネクタに接続されたディスプレイがセカンダリディスプレイとなります。

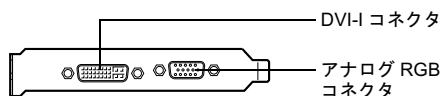
## POINT

- ▶ マルチディスプレイで使用する場合以外は、「2」コネクタへディスプレイケーブルを接続しないでください。本ワークステーションが正常に起動しません。
- ▶ マルチディスプレイで使用する場合、デジタルディスプレイは使用できません。
- ▶ カスタムメイドオプションで Millennium G450-PCI を追加し、3 台または 4 台でマルチディスプレイ機能を使用する場合は、次の「Millennium G450 と Millennium G450-PCI の場合」をご覧ください。

- ・ Millennium G450 と Millennium G450-PCI の場合 (カスタムメイドオプション)

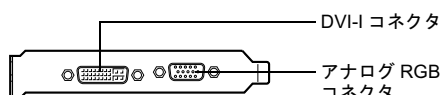
## POINT

- ▶ Millennium G450-PCI は、3 台または 4 台のディスプレイを使用するマルチディスプレイ機能専用です。
- ▶ 3 台または 4 台のディスプレイを使用する場合は、デジタルディスプレイは接続できません。
- ▶ 1 台または 2 台のディスプレイを接続する場合は、「Millennium G450 の場合」をご覧ください。



アナログディスプレイのディスプレイケーブルを次の順番で接続してください。

1. 「Millennium G450」の図をご覧になり、Millennium G450 に添付の DVI-VGA 変換ケーブルを接続し、DVI-VGA 変換ケーブルのアナログ RGB コネクタ「1」に接続します。
  2. Millennium G450-PCI のアナログ RGB コネクタに接続します。
  3. Millennium G450 に添付の DVI-VGA 変換ケーブルを接続し、DVI-VGA 変換ケーブルのアナログ RGB コネクタ「2」に接続します。
    - ・ 3 台で使用する場合は、これで完了です。4 台で使用する場合は手順 4 に進んでください。
  4. Millennium G450-PCI の DVI コネクタに別売の DVI-VGA 変換コネクタを接続してから、ディスプレイケーブルを接続します。
- ・ Fire GL 8800 の場合 (カスタムメイドオプション)

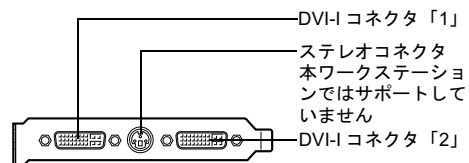


- ・ 1 台のディスプレイを接続する場合  
アナログディスプレイを接続するときは、アナログ RGB コネクタに、ディスプレイケーブルを接続します。  
デジタルディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタに、ディスプレイケーブルを接続します。
- ・ マルチディスプレイで接続する場合  
アナログディスプレイを 2 台接続するときは、DVI-I コネクタに別売の DVI-VGA 変換アダプタを接続してから、もう 1 本のディスプレイケーブルを接続します。  
アナログディスプレイとデジタルディスプレイを接続するときは、アナログ RGB コネクタと

DVI-I コネクタに、それぞれのディスプレイケーブルを接続します。

## POINT

- ▶ デジタルディスプレイを 2 台使って、マルチディスプレイで接続することはできません。
- ・ CELSIUS Quadro4 900XGL の場合 (カスタムメイドオプション)



- ・ 1 台のディスプレイを接続する場合  
アナログディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタ「1」に、添付の DVI-VGA 変換アダプタを接続してからディスプレイケーブルを接続します。  
デジタルディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタ「1」に、ディスプレイケーブルを接続します。
- ・ マルチディスプレイで接続する場合  
アナログディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタ「2」に別売の DVI-VGA 変換アダプタを接続してから、もう 1 本のディスプレイケーブルを接続します。  
デジタルディスプレイを接続するときは、DVI-I コネクタ「2」に、ディスプレイケーブルを接続します。

## POINT

- ▶ マルチディスプレイで使用する場合以外は、DVI-I コネクタ「2」へディスプレイケーブルを接続しないでください。本ワークステーションが正常に起動しません。

## 電源ケーブルを接続する

### 警告

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。

- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



● 重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。



● 電源ケーブルやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



● プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。  
そのまま使用すると、火災の原因となります。



● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
感電・火災の原因となります。



● 近くで雷が起きたときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。



● 2ピンのコンセントに接続する前に、添付のアダプタプラグを使って必ずアース線を接続してください。  
アース接続ができない場合は、弊社担当保守員または担当営業員にご相談ください。  
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

## ⚠ 注意



● 電源ケーブルは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。



● プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。  
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。



● プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
火災・故障の原因となることがあります。



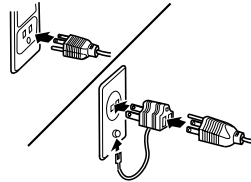
● 長期間機器を使用しないときは、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。  
感電・火災の原因となることがあります。

## ■ワークステーション本体の電源ケーブルの接続

1 電源ケーブル（本体用）のプラグをワークステーション本体背面のインレットに接続します。

2 電源ケーブルのもう一方のプラグを、電源コンセント（AC100V）に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが2ピンの場合は、添付のアダプタプラグを取り付けてから、コンセントに接続します。  
アダプタプラグに付いているアース線を、アース端子にネジ止めします。

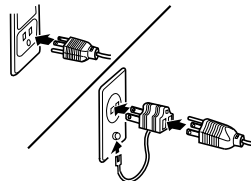


## ■ディスプレイ本体の電源ケーブルの接続

1 電源ケーブル（ディスプレイ用）のプラグをディスプレイ背面のインレットに接続します。

2 電源ケーブルのもう一方のプラグを、電源コンセント（AC100V）に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが2ピンの場合は、ディスプレイに添付のアダプタプラグを取り付けてから、コンセントに接続します。  
アダプタプラグに付いているアース線を、アース端子にネジ止めします。



## 電源を入れる

### 注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどを行わないでください（→ P.17）。
- 電源ランプは、電源を入れると緑色に点灯します。スタンバイ状態になるとオレンジ色に点灯します。
- ワークステーション本体の電源を入れる前に、必ずディスプレイが接続されていることを確認してください。ディスプレイを接続しないでワークステーション本体の電源を入れると、ディスプレイが認識されず、カーソル、画面が正常に表示されない場合があります。もし正しく表示されない場合は、「電源を切る」（→ P.23）に従って電源を切り、

ディスプレイのケーブルを確認のうえ、再度電源を入れてください。

- デジタルディスプレイをお使いになる場合、ワークステーション本体の電源を入れる前に、必ずデジタルディスプレイの電源が入っていることを確認してください。ワークステーション本体の電源を入れたあとにデジタルディスプレイの電源を入れた場合、画面が表示されません。この場合、ワークステーション本体の電源を切り、そのあとに電源を入れ直してください。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- 電源を入れた後すぐに電源を切る場合は、OS が起動してから「電源を切る」(→ P.23) に従って電源を切ってください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上間隔をあけてから行ってください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れたり、横線が見えることがあります (Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など)。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れた後、ディスプレイに CELSIUS ロゴが表示されている間に、本ワークステーションは、ワークステーション内部の装置をチェックする「POST (ポスト: Power On Self Test)」を行います。POST 中は電源を切らないでください。POST の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます (→ P.25)。
- マルチディスプレイでお使いの場合、電源を入れたときの CELSIUS ロゴは次のように表示されます。

グラフィックスカード	「CELSIUS」ロゴの表示
Millennium G450	接続したディスプレイすべてで表示
Millennium G450-PCI	表示されません
Fire GL 8800	接続したディスプレイすべてで表示
Quadro4 900 XGL	1 台目のディスプレイのみ表示

- 周辺機器の取り付けなどのとき、サイドカバーを取り外したまま電源を入れないでください。
- 画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
  - ・ ディスプレイの電源ボタンは入っていますか。
  - ・ 省電力モードが設定されていませんか。  
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
  - ・ ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか (→ P.13)。

- ・ ディスプレイのブライトネス/コントラストボリュームは、正しく調節されていますか。ブライトネス/コントラストボリュームで画面を調節してください。

## 電源の入れ方

### ⚠ 注意



- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

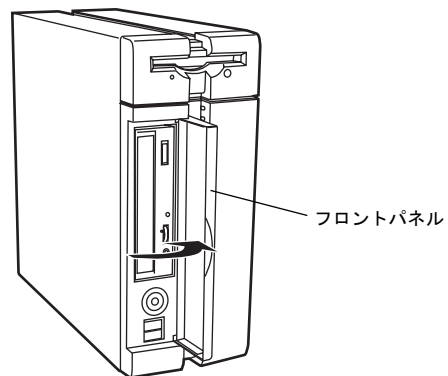


- 冬季など装置が冷えきっているときは、温度を急激に上げないようにして装置が十分暖まってから電源を入れてください。装置内部に水滴がつき、故障の原因となることがあります。

### 1 ディスプレイの電源スイッチを押してディスプレイの電源を入れます。

ディスプレイの電源ランプが点灯します。この時点では、画面には何も表示されません。

### 2 フロントパネルを開きます。

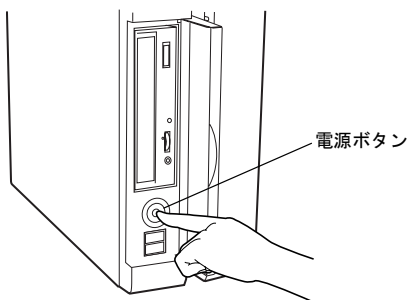


### 3 本体の電源ボタンを押します。

本体の電源ランプが点灯します。電源が入ると、ディスプレイに CELSIUS ロゴが表示され、そのあとにシステムが起動します (CELSIUS のロゴが表示されている間に、自己診断が行われています)。

### POINT

- ▶ ディスプレイの種類によっては、画面表示が遅く「CELSIUS」のロゴの表示が確認できないことがあります。その場合は、キーボードにあるインジケータの「NumLock」が点灯した後に、【Ctrl】+【Alt】+【Esc】キーを数回押してください。



初めて電源を入れた後は、続けて Windows のセットアップを行います (→ P.17)。

## セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

### 留意事項

- Windows セットアップを行う前に、次のことをしないでください。  
Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  - ・周辺機器の取り付け (カスタムメイドオプションを除く)
  - ・LAN ケーブルの接続
  - ・オプションカードのセット
  - ・BIOS をご購入時の設定から変更
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されたから、マウスで操作してください。
- マルチディスプレイで使用する場合、必ず Windows のセットアップを行ってから、もう一方のディスプレイケーブル (DVI-VGA 変換アダプタ経由の接続含む) を接続してください。

### Windows XP セットアップ

- 1 本ワークステーションの電源を入れます (→ P.15)。  
しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。  
「使用許諾契約」が表示されます。  
「使用許諾契約」は、本ワークステーションにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

- 3 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

#### POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

- 4 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。  
「コンピュータの説明」は省略できます。  
「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

#### POINT

- ▶ コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することができます。

- 5 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。  
「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。

#### POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

- 6 「いいえ ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「インターネット接続を確認します」と表示されます。しばらくすると、「インターネットに接続する方法を指定してください」と表示されます。
- 7 「省略」をクリックします。  
「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」が表示されます。
- 8 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「設定が完了しました」と表示されます。
- 9 「完了」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動する場合があります。  
手順 5 でパスワードを入力した場合は、パスワードの入力画面が表示されます。

#### 重要

- ▶ セットアップ前にリカバリを行っている場合は、「グラフィックスドライバのインストール」(→ P.19) へ進んでください。  
この場合、以降の手順は行わないでください。

- 10 パスワードを入力し、「→」をクリックします。

- 11 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

- 12 「実行する」をクリックします。  
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

- 13 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

### 重要

- ▶ 「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。

これで、Windows セットアップが完了しました。

## ■セットアップ後

- 『CELSIUS マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN の設定を行ってください。

その他の設定については『CELSIUS マニュアル』の「機能」－「セットアップ後」を参照してください。

## Windows 2000 セットアップ

### POINT

- ▶ セットアップ中に「Windows 2000 Professional CD 上のファイル `xxxxx.xxx` が必要です。」というメッセージが表示されることがあります (xxxxx.xxx には courf.fon などのファイル名が入ります)。この場合は、「コピー元」に「c:\\$support¥386」と入力し、「OK」をクリックして、セットアップを始めてください。  
セットアップが完了した後、「Windows 2000 Service Pack3」をインストールしてください (→『CELSIUS マニュアル』)。

- 1 本ワークステーションの電源を入れます (→ P.15)。  
しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。  
「ライセンス契約」が表示されます。  
「使用許諾契約書」は、本ワークステーションにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

- 3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

### POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

- 4 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。  
「組織名」は省略できます。

「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

- 5 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。  
「ネットワークの設定」が表示されます。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください。

### POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

- 6 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

### POINT

- ▶ 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。

- ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
- ・ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- ・ インターネットプロトコル (TCP/IP)

- 7 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「Windows 2000 は正常にインストールされました。」と表示されます。

- 8 「再起動する」をクリックするか、または 15 秒待つと本ワークステーションが再起動します。

「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されます。

### 重要

- ▶ このとき、「戻る」をクリックしないでください。  
再設定が必要な場合は、設定終了後に該当箇所を修正してください。

9 「次へ」をクリックします。

「このコンピュータのユーザー」が表示されます。

10 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

### POINT

▶ 必ず「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択してください。「ユーザーはこのコンピュータを ...」以外を選択すると、セットアップが正常に行われなかったことがあります。

11 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ウィンドウが表示されます。

12 手順 5 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「Windows 2000 の紹介」ウィンドウが表示されます。

13 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

14 「再起動」を選択し、「OK」をクリックします。

Windows が再起動し、「Windows へログオン」ウィンドウが表示されたら、ログオンしてください。

### 重要

▶ セットアップ前にリカバリを行っている場合は、「グラフィックスドライバのインストール」(→ P.19)へ進んでください。  
この場合、以降の手順は行わないでください。

15 ログオン後、デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。

「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

### 重要

▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

16 「実行する」をクリックします。

自動設定が行われ、本ワークステーションが再起動します。デスクトップの「必ず実行してください」アイコンが消えたら、設定は終了です。

### 重要

▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

17 「OK」をクリックします。

本ワークステーションが再起動します。

これで、Windows セットアップが完了しました。

### ■セットアップ後

●『CELSIUS マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN の設定を行ってください。  
その他の設定については『CELSIUS マニュアル』の「機能」→「セットアップ後」を参照してください。

## グラフィックスドライバのインストール

リカバリ後は、セットアップを行ってもグラフィックスドライバがインストールされていません。お使いのモデルに合ったドライバをインストールしてください。

### ■Windows XP モデル

□Millennium G450、

Millennium G450 と Millennium G450-PCI の場合

### POINT

▶ ドライバをインストールする前に、ドライバフォルダをハードディスクにコピーする必要があります。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。

2 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。

「次のハードウェアのソフトウェアがこのコンピュータ上に見つかりませんでした」と表示されます。

3 「いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「このハードウェアをインストールできません」と表示されます。

4 「完了」をクリックします。

■ 再び「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示された場合は、手順 2 に戻ってください。

5 「ドライバーズ CD」をセットします。

6 ドライバフォルダをコピーするためのフォルダ(c:\temp 等)をハードディスクに作成します。

7 ドライバーズ CD の次のドライバフォルダを手順 6 で作成したフォルダにコピーします。

[CD-ROM ドライブ]: $\displaystyle\matrox$

8 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- 9 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[ドライブフォルダをコピーしたドライブ]:¥[手順6  
で作成したフォルダ]¥matrox¥setup.exe  
「Matrox PowerDesk セットアップ」ウィンドウが表示され  
ます。
- 10 「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。  
このソフトウェアでサポートされているデバイスが表  
示されます。
- 11 「次へ」をクリックします。
- 12 「次へ」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 13 「完了」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 14 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンし  
ます。
- 15 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をク  
リックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示され  
ます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が  
行われません。必ず手順通りに実行してください。
- 16 「実行する」をクリックします。  
自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をク  
リックしてください。
- 17 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

#### □ Fire GL 8800 の場合

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンし  
ます。  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィ  
ンドウが表示されます。
- 2 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を  
選択し、「次へ」をクリックします。  
「次のハードウェアのソフトウェアがこのコンピュータ  
上に見つかりませんでした」と表示されます。
- 3 「いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。」  
をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「このハードウェアをインストールできません」と表示  
されます。
- 4 「完了」をクリックします。
- 5 「ドライバズ CD」をセットします。

- 6 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の  
順にクリックします。
- 7 「名前」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥display¥firegl¥xp¥install  
¥install.exe  
「ATI FGL インストール」ウィンドウが表示されます。
- 8 「標準：標準的なコンポーネントをインストールしま  
す。」をクリックします。
- 9 選択された内容を確認し、「次へ」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 10 「次へ」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 11 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンし  
ます。
- 12 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にク  
リックします。
- 13 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。
- 14 「画面解像度を変更する」をクリックします。
- 15 「画面の解像度」を「800 × 600」にし、「適用」をクリッ  
クします。  
「モニタの設定」が表示されます
- 16 「はい」をクリックします。
- 17 開いているウィンドウをすべて閉じます。
- 18 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をク  
リックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示され  
ます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が  
行われません。必ず手順通りに実行してください。
- 19 「実行する」をクリックします。  
自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をク  
リックしてください。
- 20 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

#### □ Quadro4 900 XGL の場合

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンし  
ます。  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィ  
ンドウが表示されます。

- 2 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。  
「次のハードウェアのソフトがこのコンピュータ上に見つかりませんでした」と表示されます。
- 3 「いいえ、今すぐインターネットに接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。  
「このハードウェアをインストールできません」と表示されます。
- 4 「完了」をクリックします。
- 5 「ドライバズ CD」をセットします。
- 6 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 7 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- 8 「システム」をクリックします。  
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 9 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 10 「その他のデバイス」－「ビデオコントローラ（VGA 互換）」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 11 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。  
「デバイスドライバのアップグレードウィザード開始」ウィンドウが表示されます。
- 12 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 13 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 14 「ディスプレイアダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 15 「ディスク使用」をクリックします。
- 16 「製造元のファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]: $\%display\%quadro4$
- 17 次のモデルを項目を選択し、「次へ」をクリックします。  
・ NVIDIA Quadro4 900XGL
- 18 「次へ」をクリックします。
- 19 「完了」をクリックします。
- 20 開いているウィンドウをすべて閉じます。
- 21 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックし、「再起動」をクリックして、「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 22 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 23 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

## 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が行われません。必ず手順通りに実行してください。

## 24 「実行する」をクリックします。

自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

## 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

## 25 「OK」をクリックします。

本ワークステーションが再起動します。

## ■Windows 2000 モデル

□Millennium G450、

Millennium G450 と Millennium G450-PCI の場合

## POINT

- ▶ ドライバをインストールする前に、ドライバフォルダをハードディスクにコピーする必要があります。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。
- 3 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「場所の指定」のチェックをはずし、「次へ」をクリックします。
- 5 「デバイスを無効にする」を選択し、「完了」をクリックします。  
■ 再び「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示された場合は、手順 2 に戻ってください。
- 6 「ドライバズ CD」をセットします。
- 7 ドライバフォルダをコピーするためのフォルダ（c:\temp 等）をハードディスクに作成します。
- 8 ドライバズ CD の次のドライバフォルダを手順 7 で作成したフォルダにコピーします。  
[CD-ROMドライブ]: $\%display\%matrox$
- 9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- 10** 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[ドライバフォルダをコピーしたドライブ]:¥[手順7  
で作成したフォルダ]¥matrox¥setup.exe  
「Matrox PowerDesk セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 11** 「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。  
このソフトウェアでサポートされているデバイスが表示されます。
- 12** 「次へ」をクリックします。
- 13** 「次へ」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 14** 「完了」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 15** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 16** デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が行われません。必ず手順通りに実行してください。

- 17** 「実行する」をクリックします。  
自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

- 18** 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

#### □ Fire GL 8800 の場合

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「次へ」をクリックします。
- 3** 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4** 「場所の指定」のチェックをはずし、「次へ」をクリックします。
- 5** 「デバイスを無効にする」を選択し、「完了」をクリックします。
- 6** 「ドライバズ CD」をセットします。
- 7** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- 8** 「名前」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥display¥firegl¥2k¥install  
¥install.exe

「ATI FGL インストール」ウィンドウが表示されます。

- 9** 「標準：標準的なコンポーネントをインストールします。」をクリックします。
- 10** 選択された内容を確認し、「次へ」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 11** 「次へ」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 12** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 13** デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が行われません。必ず手順通りに実行してください。

- 14** 「実行する」をクリックします。  
自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

- 15** 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

#### □ Quadro4 900 XGL の場合

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「次へ」をクリックします。
- 3** 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4** 「場所の指定」のチェックをはずし、「次へ」をクリックします。
- 5** 「デバイスを無効にする」を選択し、「完了」をクリックします。
- 6** 「ドライバズ CD」をセットします。
- 7** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 8** 「システム」アイコンをダブルクリックします。  
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 9 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 10 「その他のデバイス」－「ビデオコントローラ（VGA 互換）」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 11 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。  
「デバイスドライバのアップグレードウィザード開始」ウィンドウが表示されます。
- 12 「次へ」をクリックします。
- 13 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 14 「ディスプレイアダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 15 「ディスク使用」をクリックします。
- 16 「製造元のファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:%display%quadro4
- 17 次のモデルを項目を選択し、「次へ」をクリックします。  
・ NVIDIA Quadro4 900XGL
- 18 「次へ」をクリックします。
- 19 「完了」をクリックします。
- 20 「閉じる」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 21 「いいえ」をクリックします。
- 22 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「再起動」を選択して、「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。
- 23 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 24 デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。  
「最適な設定を行います」というウィンドウが表示されます。

### 重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、最終設定が行われません。必ず手順通りに実行してください。

- 25 「実行する」をクリックします。  
自動設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

### 重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

- 26 「OK」をクリックします。  
本ワークステーションが再起動します。

## セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

- 電源を入れても画面が表示されない
- 電源を切り、ディスプレイなどの接続を確認してください。
- Windows セットアップが進められなくなった
- 「電源を切る」(→ P.23) をご覧になり、本ワークステーションの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。
  - Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、マウスで操作してください。
- 電源を入れた後、画面が中央に表示されない、画面が見にくい
- 設定機能があるディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧になり調整してください。
- 起動時などの音がうるさい
- Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーを接続している場合は、ボリュームを調整してください。
- 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示される
- お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

## 電源を切る

### 注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、ディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプ(→『CELSIUS マニュアル』)が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンセントから抜いたり、停電によって電源が切断された場合は、再び電源ケーブルをコンセントに差し込むか、復電のを待ってください。電源ボタンを押す必要はありません。復電すると自動的に電源が入り、本ワークステーションが起動します。ただし、BIOS セットアップの「Power Management Setup」－「PWRON After PWE-Fail」(→『CELSIUS マニュアル』)が「OFF」に設定されている場合、電源が入りません。
- POST (自己診断) 時に電源を切らないでください。OS が完全に起動してから、後述の手順で切ってください。

- 電源を切ったあとすぐに電源を入れる場合は、10 秒間ほど間隔をあけてから行ってください。
- 通常の手段で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源スイッチを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。
- 電源を完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源ボタンを使用しても、ワークステーション本体の電源は完全に切断されていません。

## 電源の切り方

次の操作を行うと、電源が自動的に切れます。

### ■Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。



### ■Windows 2000 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。



### POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 キーを押します。
  2. 次の手順を行うと、電源が自動的に切れます。
    - Windows XP の場合  
「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。

- Windows 2000 の場合

「シャットダウン」をクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。

- ▶ 上記の画面で Windows を再起動するメニューを選択すると、本ワークステーションを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。

## 2. 必要に応じてお読みください

### BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態（標準設定値）に戻す方法は、次のとおりです。

#### POINT

▶ BIOS の設定を変更している場合は、ご購入時の状態に戻す前に、変更内容をメモしておくことをお勧めします。

- 1 本ワークステーションの電源を入れる、または再起動します。
- 2 CELSIUS ログが表示されている間に【Ctrl】+【Alt】+【Esc】キーを押します。
- 3 【↑】【↓】【→】【←】キーを使用して「Load Default Setting」を選択し、【Enter】キーを押します。  
「Load Default Settings (Y/N)?」というメッセージが表示されます。
- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 5 【↑】【↓】【→】【←】キーを使用して「Save & Exit Setup」を選択し、【Enter】キーを押します。  
「SAVE to CMOS and EXIT(Y/N)?」というメッセージが表示されます。
- 6 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。  
設定値が保存され、本ワークステーションが再起動します。

### エラーについて

#### エラーメッセージ

本ワークステーションの起動時にエラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージを確認し、対処してください。

対処してもまだエラーメッセージが表示される場合は、本ワークステーションが故障している可能性があります。弊社担当営業員または担当保守員へ連絡してください。

次にエラーメッセージを示します。

#### ●CMOS Battery failed

バッテリーの交換が必要です。弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

#### ●CMOS checksum error-Defaults loaded

BIOS 設定の「ご購入時の状態に戻す」を実行してください。その後も同じエラーメッセージが表示される場合は、バッテリーの交換が必要です。弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

#### ●DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER

フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、【Enter】キーを押してください。

#### ●DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY

弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

#### ●HARD DISK INSTALL FAILURE

CMOS Setup ユーティリティを開始して、ハードディスクドライブの設定が正しく行われているかを確認してください。

#### ●floppy disk(s) fail(XX)

フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されているときは、CMOS Setup ユーティリティを開始して、フロッピーディスクドライブの種類が正しく設定されているかを確認してください。

#### ●[Primary/Secondary][master/slave] hard disk fail

CMOS Setup ユーティリティを開始して、ハードディスクドライブの設定が正しく行われているかを確認してください。

#### ●Keyboard is locked out - Unlock the key.

キーボードが正しく接続されているかを確認してください。

#### ●Keyboard error or no keyboard present.

キーボードが正しく接続されているかを確認してください。

#### ●BIOS ROM checksum error - System halted.

弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

#### ●Memory test fail.

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。正しく取り付けられている場合は、弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

#### ●CPU-FAN speed is too low, Auto power off after 5 sec

CPUファンが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられている場合は、弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。なお、本メッセージが表示されると、5秒後に自動的に電源が切れます。

#### ●Rear-FAN speed is too low, Auto power off after 5 sec

筐体ファンが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられている場合は、弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。なお、本メッセージが表示されると、5秒後に自動的に電源が切れます。

#### POINT

▶ 本書に記載されていないメッセージが表示された場合は、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。

## ビープ音をともなうエラー

本ワークステーションの起動時にビープ音が鳴った場合はビープ音を確認し、対処してください。

対処した後もまだビープ音が鳴る場合は、本ワークステーションが故障している可能性があります。弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

次にビープ音を示します。

### ●Long-Short-Short

ビデオカードの初期化（認識）に失敗しました。

ビデオカードが正しく取り付けられているか確認してください。

正しく取り付けられていても同じビープ音が鳴る場合は、弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

### ●その他

メモリにエラーが発生しました。

メモリが正しく取り付けられているか確認してください。

正しく取り付けられていても同じビープ音が鳴る場合は、弊社担当営業員または担当保守員に連絡してください。

## リカバリ

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、ハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

### リカバリの概要

#### ■対応 OS

- Windows XP/2000

#### ■概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（→『CELSIUS マニュアル』）に戻す操作です。

リカバリは、大きく 2 種類に分かれます。

#### ●ご購入時の状態に戻す

現在のハードディスクの領域設定はそのままで、C ドライブをご購入時の状態に戻します。

#### ●領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す

ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。現在のハードディスク領域を変更したいとき、またはハードディスクを増設したときには、領域設定が必要になります。

## リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

### □ご購入時の状態に戻す手順

ハードディスクの領域設定は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみをリカバリします。

- 1 リカバリ前の準備（→ P.27）
- 2 リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）
- 3 リカバリ終了後（→ P.28）

### □領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す手順

リカバリ中に画面上で確認しながら、ハードディスクの領域を再設定します。

100MB 単位で 2 区画まで設定できます。

- 1 リカバリ前の準備（→ P.27）
- 2 リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）
- 3 リカバリ終了後（→ P.28）

## 留意事項

### ■全 OS 共通の留意事項

- リカバリや再インストール、ハードディスクの領域の変更を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。また、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してリカバリを行うと、D ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
  - 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
  - リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
  - カスタムメイドオプションのアプリケーションはリカバリされません。
  - 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、リカバリを行っても、C ドライブ以外のドライブはフォーマットされません。
  - 領域設定できる最大容量はお使いになるハードディスクにより若干異なります。
- ### □Windows XP の留意事項
- Windows 起動中に「リカバリ CD-ROM」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。

## □Windows 2000 の留意事項

- Windows 2000 では、リカバリを行うと、C ドライブは FAT に設定されます。C ドライブを NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度 NTFS に変換してください(→『CELSIUS マニュアル』)。

## リカバリ操作

本ワークステーションをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

### POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項(→ P.26)をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

## リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

### ■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の設定に戻します(→ P.25)。

### POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

## リカバリ方法 (ご購入時の状態に戻す)

本ワークステーションをご購入時の状態に戻します。ハードディスクの領域は変更されません。

### POINT

- ▶ リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

次のものを用意してください。

- Windows XP の場合 : 「リカバリ CD-ROM 1、2、3」  
Windows 2000 の場合 : 「リカバリ CD-ROM 1、2」
  - 1 「リカバリ CD-ROM 1」をセットします。
  - 2 本ワークステーションを再起動します。
  - 3 「CELSIUS」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。  
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押ししてください。  
メニューが表示されます。
  - 4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。  
「リカバリ」メニュー画面が表示されます。

- 5 リカバリを選択し、【Enter】キーを押します。  
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。
- 6 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。
- 7 「ご購入時の状態に戻す(推奨)」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。  
確認の画面が表示されます。
- 8 【Y】キーを押します。  
しばらくするとリカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。  
「No.X のメディアをドライブ Z: に入れてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM X」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。「リカバリ CD-ROM」は画面に表示されたものをセットしてください。  
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
- 9 CD-ROM を取り出してから、本ワークステーションの電源を切ります。
- 10 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください(→ P.28)。

## リカバリ方法

### (領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す)

ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。

リカバリ中に画面で確認しながら、100MB 単位で 2 区画までの領域を設定できます。

### 重要

- ▶ 区画の設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

次のものを用意してください。

- Windows XP の場合 : 「リカバリ CD-ROM 1、2、3」  
Windows 2000 の場合 : 「リカバリ CD-ROM 1、2」
  - 1 「リカバリ CD-ROM 1」をセットします。
  - 2 本ワークステーションを再起動します。
  - 3 「CELSIUS」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。  
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押ししてください。  
メニューが表示されます。
  - 4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。  
「リカバリ」メニュー画面が表示されます。
  - 5 リカバリを選択し、【Enter】キーを押します。  
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

- 6** 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。
- 7** 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 8** 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行います。
- ・「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。  
Cドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB単位で、領域を設定できます。その他の設定については、次を参考にしてください。
    - ・1つの区画として設定する  
ハードディスク全体をCドライブとして設定することができます。  
【P】キー押し、項目にチェックマークを付けます。  
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
  - ・「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。  
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

## POINT

- ▶ 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

- 9** 【Y】キーを押します。  
領域の設定が行われた後、リカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。  
「No.XのメディアをドライブZ:に入れてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM X」をセットし、しばらくしてから【Y】キー押し、【Enter】キーを押します。「リカバリ CD-ROM」は画面に表示されたものをセットしてください。  
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
- 10** CD-ROMを取り出してから、本ワークステーションの電源を切ります。
- 11** 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→P.28）。

## リカバリ終了後

本ワークステーションの電源を切った後、次の操作を行ってください。

- 1** 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します（カスタムメイドオプションを除く）。
- 2** 本ワークステーションの電源を入れます。

- 3** 以降、「セットアップ」を参照してWindowsのセットアップを行ってください（→P.17）。

以上でリカバリは終了です。

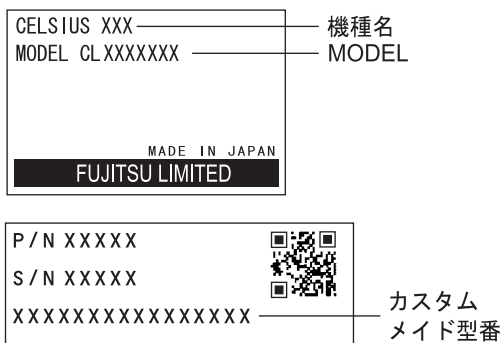
セットアップ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（→『CELSIUS マニュアル』）。

また、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションまたはカスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールします。

## お問い合わせ先

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせの際は、あらかじめ機種名、MODEL、カスタムメイド型番、ご利用環境について確認してください。

■機種名／MODEL／カスタムメイド型番の表記場所  
ワークステーション本体のラベルに記載されています。



## ■連絡先

こんなときには	こちらへ
<ul style="list-style-type: none"> <li>添付品の不備</li> </ul>	<p>弊社担当営業員または担当保守員にご相談ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>故障かなと思われたとき</li> </ul>	<p>富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<a href="http://www.fmworld.net/biz/">http://www.fmworld.net/biz/</a>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されている「トラブルシューティング」をご覧ください。</p> <p>注『CELSIUS マニュアル』は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」からご覧いただけます。</p> <p>それでも解決できない場合は、弊社担当営業員または担当保守員にご相談ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>CELSIUSシリーズの技術的なご質問・ご相談</li> <li>本ワークステーションにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<a href="http://www.fmworld.net/biz/">http://www.fmworld.net/biz/</a>) 内の『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。</li> <li>ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『CELSIUS マニュアル』の「トラブルシューティング」に記載されている「ソフトウェアのお問い合わせ一覧」をご覧ください。それでも解決できない場合は、弊社担当営業員または担当保守員にご相談ください。</li> </ul>

## ■情報サービス

また、インターネットで情報サービスを行っております。

インターネット (製品の技術情報、 Q&A 情報)	富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス 向けホームページ ( <a href="http://www.fmworld.net/biz/">http://www.fmworld.net/biz/</a> )
---------------------------------	--

Memo \_\_\_\_\_

Memo \_\_\_\_\_

